



士別ロータリークラブ

創立 1960・3・24 RI第2500地区 Vol. 17 No. 2530

2015-2016年度国際ロータリーのテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 国際ロータリー
会長 K. R. ラビンドラン

2500地区ホームページアドレス <http://rid2500.jp/>
士別ロータリークラブ <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

2015-2016年度士別ロータリーのスローガン
ロータリーを活かそう



羊と雲の丘から士別市街地を望む

- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10~13:10
- 事務所 / 士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
- 会長 / 伊藤優市 ■ 副会長 / 加藤 博
- 幹事 / 近井孝義

第2611回例会 2015年11月30日(月)

今日のプログラム .. 夜間例会

前回(11月16日)の記録 ・ 普通例会 ・ 新入会員卓話

- ・ 司 会 奈良康弘会場監督
- ・ 齊 唱 奉仕の理想
- ・ 本日の出席 会員49名 出席38名 出席率79.89% (修正済)
- ・ 本日の欠席 穴田俊昭、今井 裕、大橋直幸、黒田康敬、近藤峯世、佐藤和也、田中道也、細川博司、松塚信雄、藤吉敏博、谷 温恵
- ・ メークアップ

・ ビジター

・ ニコニコBOX

累計 147,000円

例会予定

■ 11月例会日【ロータリー財団月間】

- 11月2日(月) 例会・理事会
- 11月9日(月) 例会
- 11月16日(月) 例会
- 11月23日(月) 休会 (法定休日: 勤労感謝の日)
- 11月30日(月) 夜間例会

■ 12月例会日【病気予防と治療月間】

- 12月7日(月) 例会・年次総会・理事会
- 12月14日(月) 夜間例会・ファミリーパーティー
- 12月21日(月) 例会
- 12月28日(月) 特別休会

●11月10日第2回士別市政経懇話会「ひぶな会」が開催されました。

ひぶな会会長・牧野勇司士別市長の挨拶から始まり、会員スピーチに移り朝日商工会会長・朝日町建設協会会長の菅原清一郎氏が商工会議所と商工会の違いなど、士別郵便局長の藤澤茂樹氏は年賀はがき、タウンメールのPR、北海道銀行士別支店長・漆山雅宏氏は道銀とカーリングの関わりとフットサル、また日本ハムファイターズ応援などについて話をされました。

さらに士別翔雲高校校長の佐藤和英氏は生徒たちの東京での士別物産のPR様子など、また金融庁主催の第9回全国高校・金融・経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の地方予選で、第3位になり、北海道大会に出場するとの報告がありました。ちなみに第1位は旭川東高校、第2位も旭川東高校でした。全国大会で優勝しましたら、アメリカ旅行の副賞が有るそうです。頑張ってくださいと思います。

●11月11日に三菱飛行機が開発を進めてきた国産初のジェット旅客機、MRJ（三菱リージョナルジェット）が初試験飛行に成功しました。戦争等の影響で開発能力が有りながらYS-11以来50年ぶりの飛行機です。当時の優秀なエンジニアの技術は家電、自動車、鉄道、船舶などの開発に活かされていましたが、2000年代になって経産省や業界で高まり2008年に三菱重工業が事業化を決め7年の歳月で完成しました。

飛行機の開発は裾野の広い産業です。その技術が各方面に一段と活かされる事を願っています。また自動車に次ぐ21世紀の基幹産業に成るか期待しています。

メイドインジャパンの素晴らしい技術を世界にアピールして頂きたいと思います。

■幹事報告 ..

近井孝義幹事

- 1.12日パスト会長会総会終了しました。パスト会長の皆様お疲れ様でした。
- 2.美深ロータリークラブ様より10月の会報が届いております。回覧ファイルに入れて置きますのでご一読ください。
- 3.社会福祉法人しべつ福社会理事長様より法人設立10周年記念誌が届いております。これも回覧ファイルに入れて置きますので、ご一読ください。
- 4.2016国際ロータリー年次大会（ソウル大会）の参加旅行募集案内が来ております。参加希望の方は、幹事まで連絡ください。
- 5.ボランティアサークルむぎの会会長・田中洋子様より歳末チャリティー「第34回ふれあい演芸会」の会券が来ております。希望の方は連絡ください。1枚500円です。なお当クラスからの補助は、致しません。

と き 平成27年12月14日（月）午後6時
ところ 士別グランドホテル

上記のファミリーパーティーの件、締め切りは24日です。出欠の有無、よろしくお願ひします。

■新入会員卓話・

谷村一文会員

皆さん、こんにちは。先代の社長が亡くなって今月の25日で一周忌を迎えます。

自分が会社を任されることになってこの一年、爆弾低気圧のせいで、会社の屋根が飛び思わぬ被害を受けたり、3月の中頃から血尿が大量に出始め、5月の連休明けには厚生病院で尿管結石で入院手術の運びとなりました。まだ完治には至らず投薬と通院、あげくの果てに再度の手術を進められています。来月に自分も魅惑の50歳となりますが、生まれて今回が2回目の入院となりました。

ここで最初の入院当時のエピソードを語らせていただきたいと思います。

忘れもしない13年前の2月11日建国記念日でした。当時旭川にサラリーマンとして勤務していました。2月にしては朝の冷え込みもあり日中はとても日差しの強い1日でした。

昼過ぎに嫁さんから電話があり屋根の氷を落としてほしいとのことでした。会社の借り上げ住宅なので、嫁さんの言われるがまま仕事を早めに切り上げ3時前に帰宅しました。

この時はその後起こる地獄の出来事を知るよしもありませんでした。

平屋の住宅だったのでしごをかけスコップを持ち屋根を傷つけないようにすこすごと作業をしていました。傾斜のほとんどない屋根でしたので命綱などもつけることなく、軽装での作業でした。作業も終わりに近づいたところ大きな雪の塊がスコップにヒットし屋根の中央部分から滑り出しました。このまま一緒に自分も落ちるとすでに落とした氷に足首を捻挫でもしたら大変と考えた私は、当時今よりずっとスリムの55kgぐらいだったのでスコップを先に投げだし、自分も軽やかに高さ5メートル前後の地上へ勢いよくジャンプしたのです。自分の身体能力に酔いしれた瞬間でした。次の瞬間、股間になんとか違和感を感じました。なんとその着地した場所には冬囲い用の緑色のポールがあったのです。はいていたジーンズを貫通していたので慌てて玄関まではっていき、よく見ると股間付近に出血も見られたので、私は嫁さんに祝日の当番病院に送ってくれと頼みました。

〈以下、谷村さんの、筆舌に尽くしがたい、壮絶な闘病記が語られましたが、今は滞りなく回復なされたとのことで、何よりでした〉